

PPAによる大規模太陽光発電設備が 都筑水再生センターで稼働！ ～下水道事業における再エネ創出をさらに推進します～

令和8年2月16日、都筑水再生センターで自家消費型の大規模太陽光発電設備が稼働しました。今回、PPA^{※1}方式（電力購入契約）で導入した太陽光発電設備は、昨年度稼働した金沢水再生センターに次ぐ2事例目の先進事例となり、市内の水再生センターにおける再生可能エネルギー活用の拡大に向けた着実な一歩となります。

※1 PPA 事業者が施設に太陽光発電設備を設置し、発電した電気を購入する契約のこと

1 事業概要

事業名称	都筑水再生センター再生可能エネルギー導入事業
設置対象	第5系列水処理施設屋上 約6,000m ²
設備容量	792.5kW（発電した電気のすべてを都筑水再生センターで利用）
想定発電量	約100万kWh／年（一般家庭約250世帯 ^{※2} 分に相当）
温室効果ガス排出量削減効果	約418t-CO ₂ ／年
電力供給期間	令和8年2月16日～令和28年2月15日（20年間）
実施事業者	テス・エンジニアリング株式会社

※2 「家庭部門のCO₂排出実態統計調査 令和7年6月（環境省）」の数値により算出

2 特徴【周辺環境に配慮した取組】

- 太陽光パネルの配置・角度
低重心で勾配5度の架台を採用し、強風及び反射対策を行います。
- 低反射太陽光パネルの活用
まぶしさを防ぐ加工を施した太陽光パネルを使用し、反射対策を行います。

3 設置場所等



①都筑水再生センター全景



②設置状況

お問合せ先		
下水道河川局設備課長	福田 有克	Tel 045-671-2816



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

